

# NO MORE NUCLEAR

<http://nomorenuclear.net/>

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

No More Nuclear事務局は、福島県南相馬市の復興支援を目的としたチャリティーTシャツの販売を行います。

Tシャツ1枚(2,000円)のご購入につき1,500円を復興支援金として福島県南相馬市役所に寄付させていただきます。

多くの皆様にご賛同、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。

「No More Nuclear (原発はもういらぬ)」は、東京電力・政府などへの抗議ではなく、エネルギーを浪費し原発の必要性を生み出してきた自分たちへのメッセージです。



<http://nomorenuclear.net/>

※ Tシャツの販売だけでなく、寄付金のみのご協力も受け付けております。  
※ 携帯電話からもご利用いただけます。

No More Nuclear 事務局  
✉ [info@nomorenuclear.net](mailto:info@nomorenuclear.net)





**ますやま ゆつき**  
(7さい 原町第二小学校)

わたしは、じしんがおきたときは、じどうクラブにいました。しゅくだいをやっていて、とてもびっくりしました。すぐこわかったです。

それから、そとにでちゃダメとママにいわれ、つまらないけど、びょうきになるのはこわかったので、おうちにいました。

今は、はらまちにいないので、はやくかえってみんなにあいたいです。学校にいて、こうていでおにごっこをしたり、大スキなきゅうしょくのカレーをたべて、おともだちとあそびたいです。

おともだちが、どこにいるのかわからないので、きになってすごくしんぱいです。

はやくはらまちにかえりたいです。

**八津尾 紘之**  
(南相馬市原町区)

今回の震災に関して、被災された方々のご冥福をお祈りいたします。

福島県南相馬市は原発により避難勧告や屋内退避の範囲になっており、大きな被害が出たにも関わらず、未だ復旧の目途や行方不明者の捜索も進んでおりません。

地震の影響により、家は壁が落ち、瓦は剥がれ落ち、中はメチャクチャな状態ですが、まだ家がたってるだけ運が良いです。

海沿いは、津波により家は倒壊し、陸地に船がながされ、瓦礫の山となっている場所がたくさんあり、全国・全世界のサーファーが愛していたビーチも今や無残な姿に変わっています。

道が復旧されないので、避難所生活では足りない、生活用品も家に取りにいけない。その家を確認することも出来ない。

逃げる時にはぐれてしまった家族を探すこともできない。日々、不安と悲しみにくれている方々がたくさんいます。

これが南相馬の現実です。

今、南相馬は国や行政だけでは支えきれない現実を抱えています。

少しでも多くの方々に現状を理解して頂き、南相馬市民・出身者・ゆかりのある方々と共に、復興へ向けての協力を是非お願いします。

**大内 朋枝**  
(南相馬市原町区高)

私が生まれ育った南相馬市は、市の面積の多くが福島第一原子力発電所から20km圏内に入るものの、原発が実際に建っている市ではありません。そのため、原発が建設される際も、原町市(現・南相馬市原町区)の反対住民の声は重要視されなかったと、いまは亡き祖父は言っていました。

この先この原発事故が終息したとしても、建設地域ではない理由から、国や東京電力等からの十分な補償は期待できない、期待してはいけないと思っています。

それでも、先祖代々から住み続け育ててきた自然豊かなこの土地を守る為、私達はなんとしてでも復興していくつもりです。

故郷がなくなる事態はなんとしてでも避けたい。そういう想いです。



NO MORE NUCLEAR  
チャリティーTシャツ  
COLOR : White×Green  
SIZE : S/M/L/XL  
PRICE : ¥2,000  
\*代金のうち1,500円が  
寄付されます

<http://nomorenuclear.net/>

※ Tシャツの販売だけでなく、寄付金のみのご協力も受け付けております。  
※ 携帯電話からもご利用いただけます。

**No More Nuclear 事務局**  
✉ [info@nomorenuclear.net](mailto:info@nomorenuclear.net)

